

# 虚血性心疾患について

虚血性心疾患とは、心臓に必要な酸素や栄養を送る冠動脈に動脈硬化が進み、血液の流れが悪くなり酸素の需要・供給バランスが崩れ、心筋が**酸素不足（虚血）**になる病気です。

## 治療

まずは症状を軽くするため薬物治療を開始します。そして、検査を進め**カテーテル治療（冠動脈形成術：PCI）**や**外科手術（冠動脈バイパス術：CABG）**などの血液の流れを良くする血行再建療法の適応を考えます。

## 手術治療：冠動脈バイパス術（CABG）とは

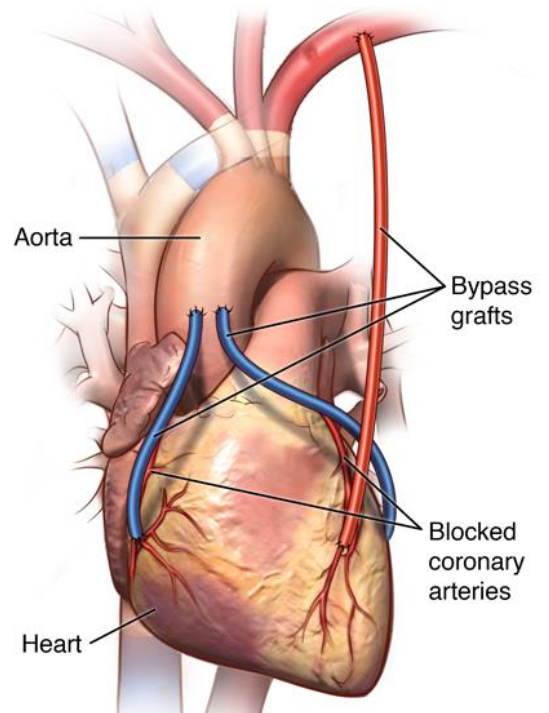
冠動脈の形態、合併症や病状などにより CABG が適応されます。冠動脈バイパス術（CABG）は冠動脈狭窄や閉塞に伴うその末梢領域への血流低下に対し、血行再建を行う外科的手術です。冠動脈の狭くなったり閉塞したりした所（病変部分）より先の部分に新しいバイパス血管（**グラフト**）をつなげて、血液が病変部分を通らずにバイパス血管を経由して心筋へ流れるようにする手術です。

### 冠動脈バイパス手術に使用するバイパス血管

左（右） **内胸動脈**・**下肢の静脈（大伏在静脈）**・

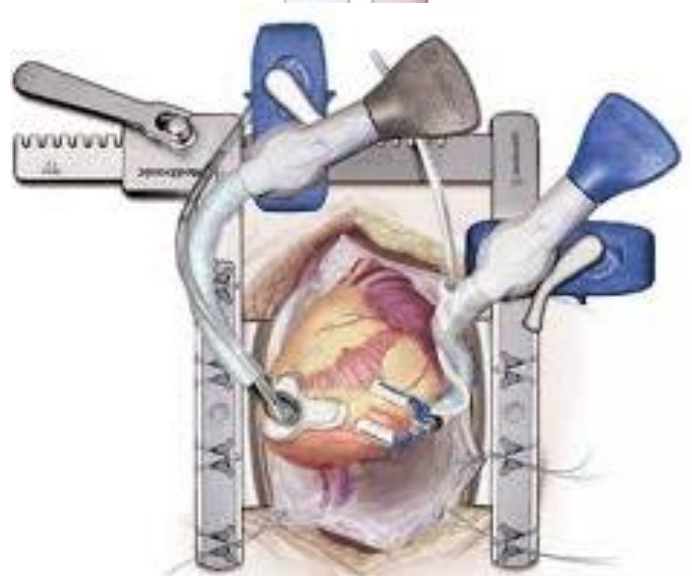
**右胃体網動脈**・**橈骨動脈**

上記の血管のいずれかを組み合わせます。当科では積極的に動脈グラフトを使用しております。



## オフポンプ冠動脈バイパス術 (OPCAB)

人工心肺を使用しない冠動脈バイパス手術のことを**オフポンプ冠動脈バイパス術（OPCAB）**と呼んでいます。人工心肺を用いた体外循環下に心停止させて行う手術に比べて患者さんにとって低侵襲です。しかし、冠動脈は心臓の表面を走行する血管で、当然拍動に応じて動くので、特殊な器材を用いて行います。当院では、単独冠動脈バイパス手術において**オフポンプ冠動**



**脈バイパス術**を第一選択として行っており、2002年から2016年までの**緊急手術を含めた全単独冠動脈バイパス手術では95.8%、待機手術では98.9%が可能でした**。そのほか、体外循環を用いる場合でも、心拍動は停止させず、**心拍動のまま**バイパス手術を行います（on pump beating CABG）。技術的には、従来の人工心肺を使用した心停止下の手術に比べ難しいのですが、術中専門麻酔医による経食道心臓超音波モニターによる心機能評価や術中**グラフト血流計測**を導入して質の高い手術を目指しています。